

令和6年度

### 第3回 富士特別支援学校富士東分校学校運営協議会(報告)

1 日時 令和7年1月24日(金)午前10時から正午まで

#### 2 参加者

##### (1) 学校運営協議会委員(敬称略)

上村 一成(元特別支援学校長)

鈴木 修 (特定非営利活動法人くらしえん・しごとえん 代表理事)

船津 裕子(船津クリニック 薬剤師)

佐野 勝 (青葉台町内連合会 連合自治会長) 欠席

熊谷 仁 (富士東高等学校 副校長)

高橋 美喜(富士東分校 PTA会長)

##### (2) 教職員

高田 宗享(校長)

鈴木 耕輔(副校長)

岩附 敦史(部主事)

杉澤 陵太(教務課長・高1学年主任)

長田 翔太(高2学年主任)

#### 3 次第

(1) 校長挨拶

(2) 校内参観

(3) 学校自己評価報告

(4) 学校取組紹介(インスタグラムにて)

(5) 校内参観

(6) 議事(会長)

テーマ「良さを磨き、共に学び、社会で協働する人」を育てる富士東分校に  
するために、私たちがやりたいこと、できること

- ・ ルール・サミットの取組趣旨説明(部主事)
- ・ ルール・サミットの進捗状況報告(生徒会長)
- ・ グループディスカッション(委員、生徒、教員)

(7) 学校関係者評価説明

(8) 閉会

## 【議事録】

### 1 校長あいさつ

- ・ 学校運営協議会に生徒が参画するのは実に富士東分校らしい取組。県内の特別支援学校でも例はないように思う。次年度に向けた方向性について全員で考え、皆さんとよりよい学校作りをしていきたい。

### 2 学校自己評価報告(副校長)

<内 容>

- ・ 令和6年度 学校経営報告書(自己評価)
- ・ 教職員 学校自己評価
- ・ 保護者 学校評価
- ・ 生徒 学校評価



### 3 学校取組紹介

- ・ 学校公式インスタグラムにて後期富士東分校の取組の様子を紹介

### 4 校内参観

- ・ クラフト班、メンテナンス班、農耕班の3班

### 5 議事

テーマ「良さを磨き、共に学び、社会で協働する人」を育てる富士東分校にするために、私たちがやりたいこと、できること

- ・ ルール・サミットの取組趣旨説明(部主事)
- ・ ルール・サミットの進捗状況報告(生徒会長)
- ・ グループディスカッション(4班編成 委員、生徒、教員 )

#### (1) ルール・サミットの取組趣旨説明(部主事)

ルール・サミットとは、生徒が主体となって学校のルール(規則)を見直し、決めるための会議。富士東分校では、生徒が「主体者」となって、自分たちで考えて、決める。そして、決めたことに責任をもつということを大切にしている。

#### (2) ルール・サミットの進捗状況報告(生徒会長)

生徒会が中心となり、見直したいと思うルールについて、全生徒にアンケート調査をしました。みんなから出てきた意見をもとに議題を決めて、全生徒が出席するルール・サミットを実施しました。サミットでは、classroomのチャット機能を活用して、誰でも意見が言えるように工夫しました。このサミットで、7つのルールが見直されました。現在新しいルールのもとで、一人一人が意識をしながら、学校生活を送っています。



\* 生徒会長 進捗状況報告の様子

### (3) グループディスカッション

#### 1班テーマ

【良さを磨き】 学校生活が充実し、安心して自分の良さを発揮できる学校にするために、できることは何か？

生徒A: 社会に貢献するために、駅であいさつする活動をしてみたい。あいさつをしていれば、困った人がいた時に助けられる。今、学校でもあいさつ運動をしているが、それを校外に広げたい。みのる幼稚園に清掃活動に行っているが、園児から「ありがとう」と言われると、疲れていても笑顔が出る。職場実習でもあいさつはとても大事。2年生では、笑顔いっぱい週間であいさつをがんばっている。それを1年生とも一緒にやりたい。

委員A: あいさつをされると気分が良くなる。校内で友達や先生に、いつでもあいさつできるようにするのがいいですね。

生徒B: 僕は車が好き。休み時間に友達と好きな車の話をしたい。

委員B: 友達と楽しく話をする時間はある？

生徒B: あります。

委員B: 委員会や授業の準備などでゆとりのある時間がないことが多い。  
友達と話ができる時間があることはとても良い。

生徒C: 休み時間には、友達と話をしたい。

委員A: 友達への声掛けは大事。

自分が楽しそうにしていれば、友達が増える。

生徒C: 困っている人がいたら、自分が「大丈夫？」と声をかけて助けてあげたい。

委員B: 困ったときに助けてもらえる人はいる？

生徒C: 先生に相談したり、先輩に助けを求めたりする。



生徒A: 友達同士のトラブルがあったときには、私が間に入って、一方からの意見だけでなく、もう一方からの意見も聞いてアドバイスをしてあげたい。

委員B: 人は一人では生きていけない。誰かとつながって行動することが大事。」

委員A: あいさつの6か条がある。「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「だいじょうぶ」「ありがとう」「ごめんなさい」を覚えておいてください。

〈今からでもできることをメンバーで確認〉

- ① 自分から進んであいさつをする。
- ② 友達に優しくする。

## 2班テーマ

【共に学び】 富士東高との共生・共育で新たにできることは何か？

生徒 D: 次年度には3学年揃い、空き教室がなくなるため、コミュニティルームを今まで以上に活用させてほしい。進路に向けて、学習の内容や難易度が違うから難しいかもしれないが、授業などを一緒に受けられる機会があるとよい。

生徒 E: 東雲祭の文化の部のブース発表で、現在は分校と高校が別の発表をしているが、高校の友達と一緒に何かできるとよい。体育の部では、高校の各 HR に分校生が所属するので、その HR ごとで何か催しをすとか。インスタを、今は共生・共育委員とやっているが、個人的に仲の良い友達に声をかけて、企画をして投稿するなど主体的な取り組みをしたい。

部活動の交流を増やしてほしい。

生徒 F: 行事などを一緒にやる機会を増やしていきたい。集合写真を東高生みんなと撮ってみたい。校外学習や修学旅行なども一緒に行きたい。

## 委員 C

〈コミュニティルームについて〉

- ・教室の利用については、もちろん活用してもらって構わない。その他の特別教室等の利用も必要であれば、調整をして貸し出すことは可能。

〈授業や部活動、行事を一緒にやることなどについて〉

- ・「○○をやりたい！」という新しい提案をしていくことはとても大事。そのような声が挙がることで、そのためにどんなことを検討して、一つ一つクリアしていかなければいけないのかということが考えられる。その中で、目的や具体的な方法などが明確になっていくから。
- ・東高の生徒とも、このような話し合いをして、生徒間でやりたいことを一つ一つ形にしていけるとよいのではないかな。



### 3班テーマ

【社会と協働する】社会で協働する 地域の方に愛される富士東分校になるために、できることは何か？

生徒 G: 地域作業に行っていること。いろいろな場所へ地域作業に出向き、一生懸命仕事をすると地域の人たちに私たちのことを分かってもらえると思う。今も、そういう気持ちでやっている。

生徒 H: あいさつが大切だと思う。あいさつとか、身だしなみとか、小さなことから1つ1つやっていくことがいいと思う。東雲祭や、ボランティア活動で、東分校の良さを見せていきたい。そうすれば、地域に愛される学校になると思う。

委員 D: 愛されようって意識するのではなく、自分が楽しむ、楽しいことをしているということが何よりも大切。凸凹があってもいい。得意なことは自分でやる、不得意なことを任せてもいい。いろいろな人がいるっていい。化学反応を楽しもう。まずは自分が楽しむ、そしてこの地域を愛すること。そうすれば自然と愛される学校になっていくのではないかな。

生徒 G: 楽しむっていいですね。私は来年、最上級生になります。1・2年生を引っ張っていきたくて、1期生として楽しいことがいっぱい学校にしたい。だから、例えば地域作業も縦割りでやれば、東分校の学年をこえてチームワークが生まれると思う。

生徒 H: 私も同じです。学年の壁がなくなって、みんなで地域作業にできれば、後輩・先輩としてもっといい仕事ができると思う。やっぱりF先輩はいい意見を言いますね。今もやっているけど、インスタや地域作業や実習で、私たちのことをもっと知ってほしいと思っている。

生徒 G: 東分校ってこんなところだよって、中学生や、中学校の頃の先生や、周りの人に知ってもらえたら嬉しい。

委員 D: 富士東分校にはこうやって、生徒がアイデアを出せる環境がある。ルールサミットもそう。自分の意見が言えて、周りが変わっていく。地域、社会が変わっていく。そんなことを実感できるって素晴らしい。学校のことを、誇っている2人が本当に素敵ですね。学校の中で、人の良いところを見る姿勢、自分自身を愛すること、一人でも味方がいるって嬉しい、そんな気持ちを大切にしていってほしい。

『社会を変えていく学校』、東分校なら、なれるのでは？みなさんの活躍が楽しみ。



#### 4班テーマ

【社会で協働する】卒業後の生活を充実させるために、今できることは何か？

生徒 I: 卒業後に企業で働きたい。お金を稼ぎたい。経済や投資、IT パスポートに興味があります。やりたいことをかなえたい。

生徒 J: お金を稼ぐ、機械が好きです。

生徒 K: お金を稼ぎたい、趣味(バイク・車)で出かけた。一番かなえたい(バイクの免許)

#### 委員 E

＜仕事を決めるのに大切なポイント＞

- ・通勤経路を守ることは社会に出てからとても大切。安全面、保険など会社で働く中では守らなければいけないルールがある。これは学校と社会との大きな違い。

＜ストレスについて＞

ストレスを発散する方法よりも、なぜストレスがたまるのかを自分で把握していくことがとても大切。また、小さなモヤモヤのうちに口に出す、紙に書くなど対処をしていくことでうまくストレスと付き合っていけるのではないか。心の中で思うことは自由だが、それを言葉や行動に表してしまうことは社会で認められない。不満に思ったときに口に出して言えないとストレスが溜まってしまいが、それを自分なりにこまめに消化していくことが大切ではないか。

＜就職をした後に気を付けるポイント＞

仕事を長く続けていくことは難しいこと。いつもと環境が変わったときに、人はストレスや不安を感じやすい。学生生活から社会に出た時、今までよりも仕事量が増えた時、勤務時間が伸びた時が、問題が起こりやすい。生活面を整えていくことはその基盤となり、とても大切なこと。



#### 6 学校関係者評価(副校長)

- ・学校関係者評価について委員への説明、依頼
- ・令和7年度学校経営計画

#### 7 閉会あいさつ(校長)

学校の主体は生徒。今回のように生徒が学校運営協議会に参画し、委員の方々と顔を合わせてこれからの学校について話ができただけの経験は、生徒にとって大きな財産となった。校内参観では、クラブ班の活動に富士東高校の校長先生が参加していた。今の富士東高校と富士東分校の良い関係が垣間見えた。このような日常的なかかわりに感謝したい、そして大切にしていきたい。